



あかりみらい 越智 文雄 社長

おち・ふみお 1957年、北海道大学法学部卒。北海道電力で電気事業連合会副部長（出向）、北電危機管理対策課長、広報課長などを歴任。2012年にあかりみらい設立。2023年1月に沖縄支社を開設。

御社の事業内容について教えてください。

2012年に北海道で設立し、自治体向けにLED（発光ダイオード）化によるカーボンニュートラルやSDGsの実現をお手伝いしています。東日本大震災後、政府が策定した「あかり未来計画」に賛同し、社名に採用しています。

LEDを使えば7～8割の省エネルギーが実現できます。民間ではLEDは常識になっていますが、多くの自治体では依然、蛍光灯や白熱灯のままです。弊社では10年間のリース契約によるLED化を自治体に提案しています。初期費用ゼロで、電気代の削減分で工費やリース代、財政メリットが確保できるモデルです。公共施設の図面

をスマートフォンで撮影いただければ、自動的に試算ができるプログラムを開発して特許を取得しており、迅速かつ無料で見積もりに対応できます。

これまでに全国で約40の自治体で導入いただき、官民2千施設をLED化

LED化で未来照らす

経済的効果は大きく、不利な地域にこそエネルギーや脱炭素化を応援して差し上げたい思いがあります。

支社を設立後、沖縄県内のほとんどの自治体を訪問し、提案をさせていただきました。既に北中城村に導入いた

従来目標が3年前倒しされた形です。さほど報じられてはいないようですが、衝撃と危機感をもって受け止めるべき事態です。今後、条約に加盟する147カ国・地域ではLEDの取り合いとも言わなければならない状況がやってきます。

たいのです。物流のハンディがある沖縄では、資材が十分に回らない可能性もあります。

24年の抱負をお聞かせください。

弊社は自治体のLED化で全国一の実績があります。リースを活用するモデルでは、沖縄の地元の銀行系リース会社2社と提携することで、島からお金を出さない仕組みを提案し、導入していきます。

だき、沖縄県の90施設の調査・試算業務も受託しました。

23年11月、「水銀に関する水俣条約」の締約国会議で直管蛍光灯の製造や輸出入を27年末までに禁じる合意が交わされました。

照明器具を30年までにLED化する様には一刻も早く取り組んでいただきます。

あかりみらいは
沖縄のカーボンニュートラルの
お手伝いをしています。

地元リース会社と地元電気工事業界との
コンソーシアムで明るく安全な街を創り
電気料金値上げから自治体財政を守ります。

株式会社あかりみらい

【沖縄支社】沖縄県那覇市久茂地2丁目19-5
0120-760-814

あかりみらい 沖縄 検索